

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2022年度)

専門分野区分	作品制作	科目名	DC制作実践					科目コード	D1920A1
配当期	前期	授業実施形態	通常					単位数	8 単位
担当教員名	澤田 卓也	履修グループ	3H(MA)					授業方法	演習
実務経験の内容	SPデザイナーとしてデザイン会社に2年、商品制作会社に2年。その後、フリーランスとして10年に渡り各企業のディレクション業務を請け負う。その経験を活かし、作品制作を実践的に指導します。								
学習一般目標	<p>①創作演習(グループ課題) 後期科目デザイン創作演習IIと連携し、作品展MF2023への出展を目指した作品制作を行う。 また、上記の制作を、自ら「追加、改善、改良」をし、完成度を向上することができるようにします。</p> <p>②最終の対面授業で行う、プレゼンテーションに向け、自身の作品を客観的に分析し、受け手へのアプローチ方法や、コミュニケーション技術の向上につなげることを目指します。</p> <p>※ 作品のテーマは授業内で好評いたします。</p>								
授業の概要および学習上の助言	基本的には、課題のテーマに沿って、自主的に制作する事を前提としていますが、課題作品の「テーマ設定」や「企画立案」など、要所には指導を行います。								
教科書および参考書	参考作品などの資料を適宜に配布。								
履修に必要な予備知識や技能	出題された課題のテーマに関連する情報をリサーチし、収集する事。								
使用機器	<p>デジタル機材： デジタルカメラ</p> <p>アナログ画材： 糊、ハサミ、カッター、定規(30cm程度) カッティングシートなどの基本的な文房具類など。 学校側でも5セット程度は用意します。</p> <p>※上記の道具は、必須ではありませんが、作品の作業効率を向上させる推奨の道具類です。</p>								
使用ソフト	Adobe : Illustrator / Photoshop								
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標							
	2	設定されたテーマに対し、問題解決などに向け企画を立案する事ができる。							
	2	設定されたテーマに対し、問題解決などに向け、作品として表現する事ができる。							
	3	設定されたテーマに対し、意欲的に、作品制作に取り組むことができる。							
	4	設定されたテーマや、問題解決に向けた作品制作に対し、口頭で説明する事ができる。							
5	設定されたテーマに対し、深く掘り下げ、作品のクオリティーを持続して向上させる事ができる。								
達成	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	1.知識・理解								
学	2.思考・判断					25		10	35

度 評 価	部 D P	3.態度				5		5	10
		4.技能・表現				25		10	35
		5.関心・意欲				10		10	20
	総合評価割合				65		35	100	

評価の要点

評価方法	評価の実施方法と注意点
試験	
小テスト	
レポート	
成果発表(口頭・実技)	
作品	テーマ性の掘り下げ深度と、制作表現の技術的評価の両面から判断。
ポートフォリオ	テーマ性の掘り下げ深度と、制作表現の技術的評価の両面から判断。
その他	授業への出席、取組み、態度などを含め総合的に判断する

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	テーマに沿っての情報収集。 企画書と計画表の作成。	調査	
第2回	テーマに沿っての情報収集。 企画書と計画表の作成。 更新チェックと、制作日程の確認。	調査	
第3回	企画書と計画表をもとに ラフスケッチ、又はラフ案の制作。	実習	
第4回	企画書と計画表をもとに ラフスケッチ、又はラフ案の制作。 更新チェック	実習	
第5回	企画書、計画表、ラフスケッチ、 又はラフ案のデジタル制作。	実習	
第6回	企画書、計画表、ラフスケッチ、 又はラフ案のデジタル制作。 制作の更新チェック	実習	
第7回	企画書、計画表、ラフスケッチに 対しての確認と、全体講義。	実習	
第8回	企画書、計画表、ラフスケッチ、 又はラフ案のデジタル制作。 更新チェック	調査	

第9回	企画書、計画表、ラフスケッチ、 又はラフ案のデジタル制作。 途中経過の合評。	調査	
第10回	企画書、計画表、ラフスケッチ、 又はラフ案のデジタル制作。	実習	
第11回	企画書、計画表、ラフスケッチに 対しての確認と、全体講義。	実習	
第12回	企画書、計画表、ラフスケッチ、 又はラフ案のデジタル制作。	実習	
第13回	企画書、計画表、ラフスケッチ、 又はラフ案のデジタル制作。 最終プレゼンテーション。合評。	実習	
第14回	課題解決型授業1 作成期間と提出期限 作成は、2022年06月01日～15日 提出期限は2022年07月13日 企画書類のブラッシュアップ。	遠隔授業 実施時期：2期	
第15回	課題解決型授業2 作成期間と提出期限 「調査資料」の作成は、2022年07月29日～13日 「調査資料」と「今後の目標」の提出期限は2022年07月13日 企画書類のブラッシュアップ。	遠隔授業 実施時期：4期	